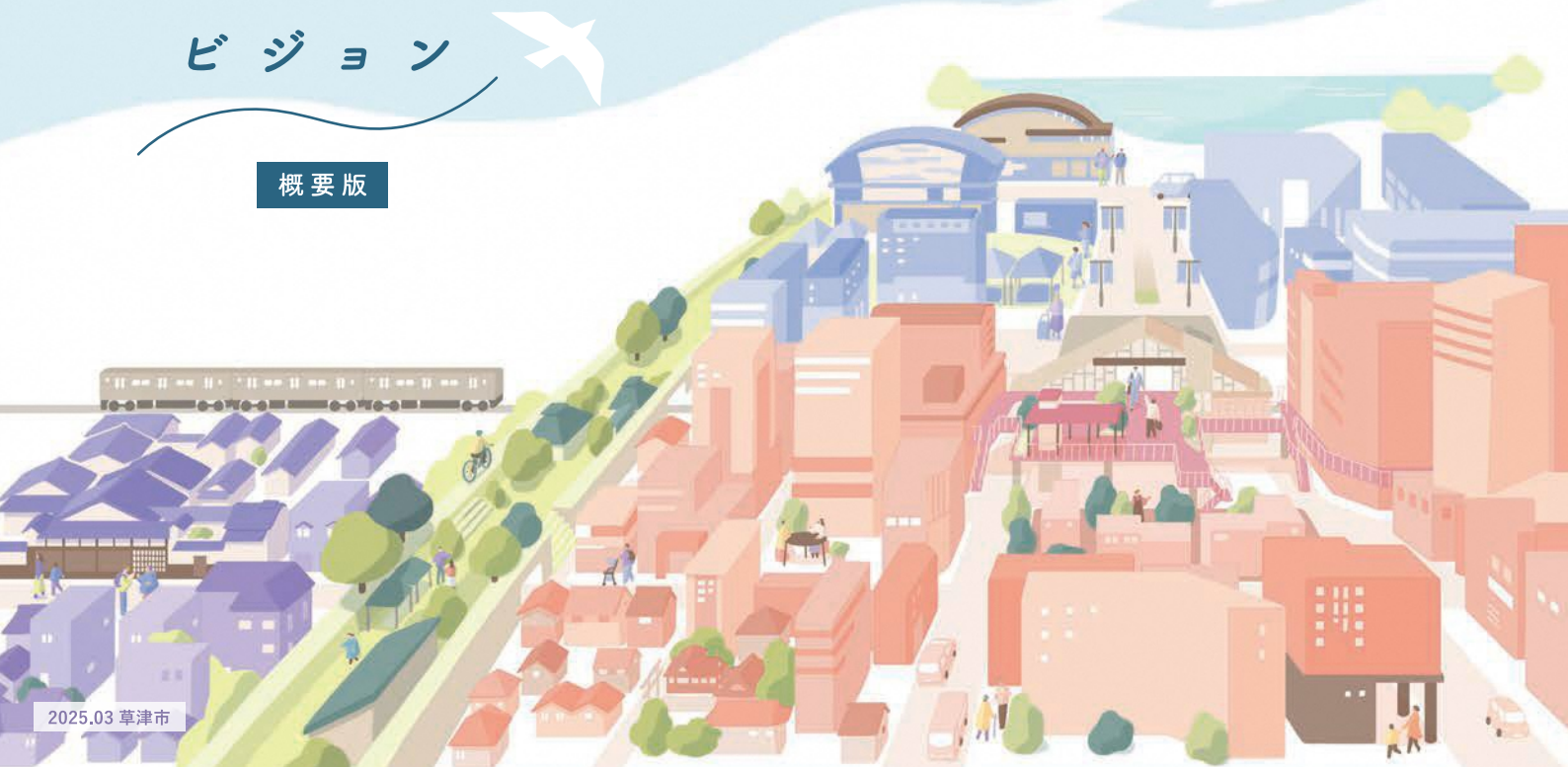
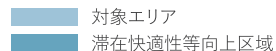


草津駅周辺エリア

未来 ビジョン

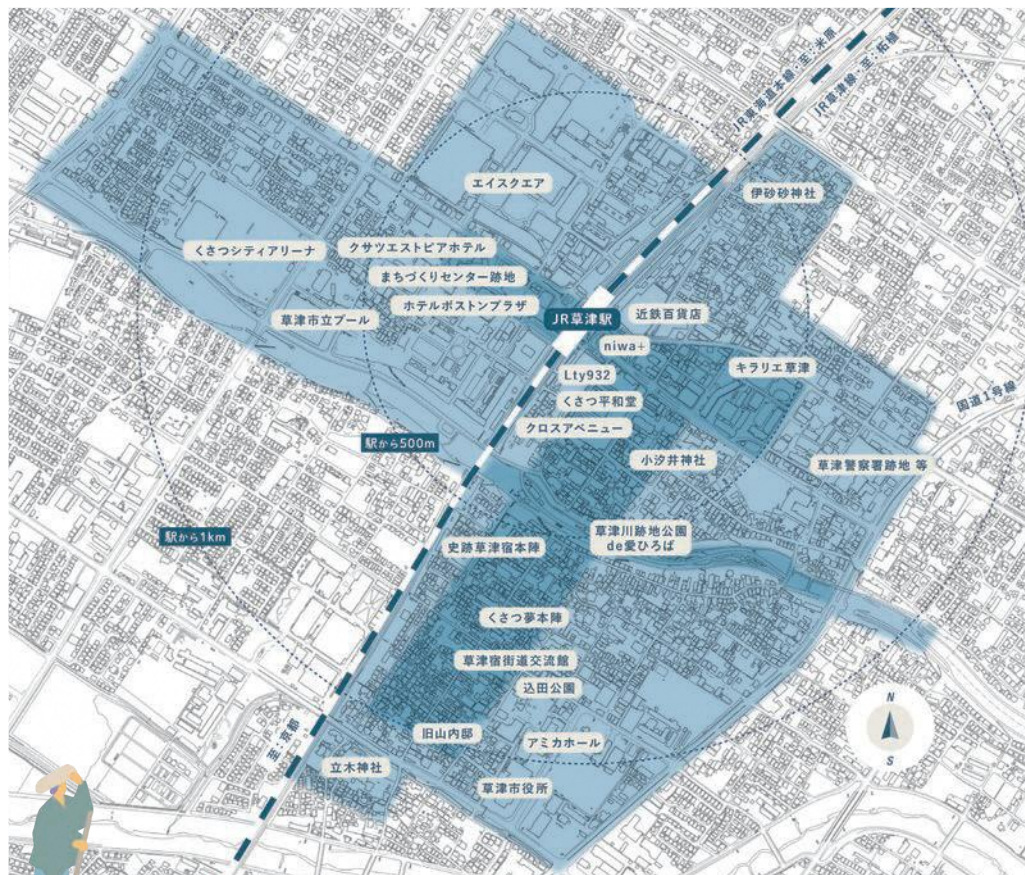
概要版





草津駅周辺エリア未来ビジョン（以下「未来ビジョン」）は、今後10年間（令和年度～令和16年度）の草津駅周辺のまちづくりについて官民共通のすすむべき指針であり、めざす将来像の実現に向けて、官民が絶えず協議、連携しながら、時には手法を変えてチャレンジする未来創造型の計画です。

未来ビジョンでは、官民連携による事業の実践を調整する組織として、行政・市民・民間事業者などが得意を持ち寄り、「共創」によって、将来像の実現を目指す、多様な関係者で構成された「くさつまちなかエリアプラットフォーム」を設置します。



対象
エリア

JR 草津駅から概ね1km圏内
商業、業務、居住、福祉等の都市機能が集積している区域
(草津市立地適正化における都市機能誘導区域を基本とした区域)



役割と将来像

滋賀県南部地域の中核となる草津駅周辺エリアの果たすべき使命として、県民の暮らしと経済を牽引し、広域の発展を生み出す活力の源泉となることを役割として掲げています。そして、「多様」な価値観を持ちあわせた人々が出会い、交流することで、新たな発見やアイデアを紡ぎだし、ともに実践する「共創」と「挑戦」が循環する、「健やか」なまちで、「健やか」なひとの「暮らし」が実現するまちの姿を将来像として掲げています。

役割 (ミッション)

草津駅周辺が
果たすべき使命



県南部地域を 牽引する活力の源泉

将来像 (ビジョン)

めざす将来像



共創と挑戦が循環 健やかな暮らしが実現するまち

コンセプト

ビジョンに導く5つのエリアが目指す方向

駅西
エリア

駅前
エリア

駅東
エリア

公園
エリア

本陣
エリア

詳細は
中面へ



方針

ビジョンと
アクションを
実現する戦略

まちを
「デザイン」
する



空間活用

都市緑化

まちを
「ブランディング」
する



情報共有

シティ
プロモーション

まちを
「マネジメント」
する



施設連携

市民共創

指標

戦略毎に定めるアクションの活動指標

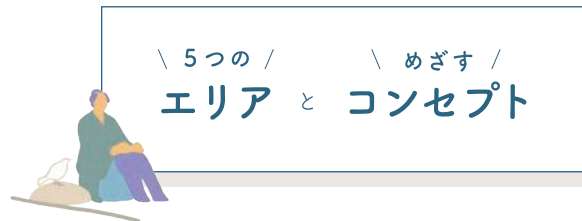


詳細は
裏面へ

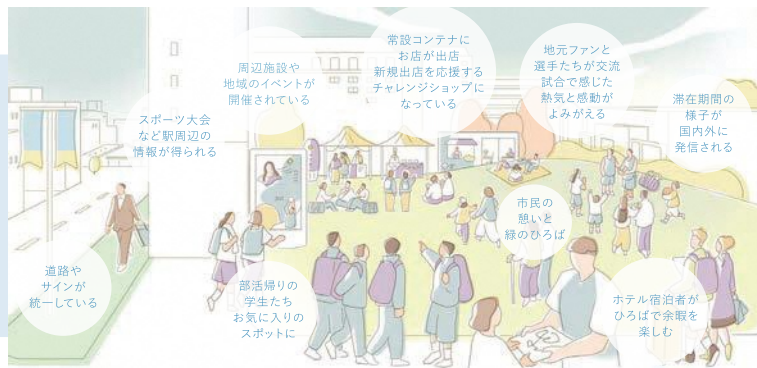
戦術



アクション



中心市街地活性化基本計画において位置づけられた、「駅西」「駅東」「本陣」の3つのエリアに、新しく2つの個性を持つエリア(「公園エリア」、「駅前エリア」)を追加しました。5つのエリアがめざす方向をコンセプトとして設定し、それぞれの個性を活かしたまちづくりをすすめます。



駅西エリア

熱気と感動
あふれる
暮らし彩る
交流のまち

市民交流の拠点であったまちづくりセンター跡地を、店舗やイベントで賑わう緑のひろばとして利用することによって、来街者をはじめ、地域住民などが気軽に立ち寄り、日常的な交流が育まれることで、ここにしかない賑わいの風景をイメージしています。



駅前エリア

いつもの
寄り道が
出会い育む
高質な都市空間

ステージで発表できたり、事業者が気軽にに出店できたり。緑で区切られた空間にはベンチやテーブルが設えられ、これまで通り過ぎるだけだった場所に多くの人が立ち寄り、ゆったりとした滞在空間のなかで、ゆるやかな出会いと交流を育む風景をイメージしています。

昼間

夜間



駅東エリア

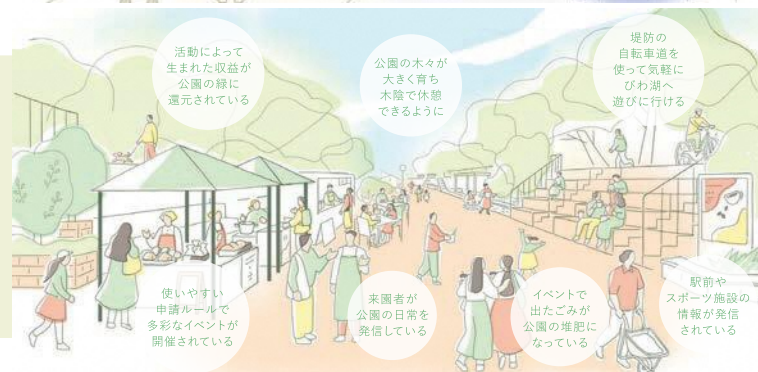
表情豊かな いつものまちかど 次代を育む 多様性のまち

市街地再開発で生まれたオープンスペースには、歩行空間と店舗をゆるやかにつなげ、昼間は、子育て世帯の交流やこどもたちの遊び場として、夜間は、仕事帰りの人同士の憩いの空間として、昼と夜とで表情の異なるいつもの賑わいの風景をイメージしています。

公園エリア

使いこなしが 緑とまちを 守りつなぐ 共創と循環の場

いつもイベントで賑わい、多くの人達が訪れ、マルシェなどでは会話をを楽しむ人もいれば、一人でのんびりと過ごす人、いつもと同じように公園を訪れる人もいます。そんな誰にとっても居心地の良い緑の空間をみんなで守り育てる風景をイメージしています。



本陣エリア

温故を受け継ぎ 新しきを 創造する 宿場町

車両の進入を規制した旧街道の空間で、昔から受け継がれてきた風景や歴史に想いを馳せる傍ら、新たに生まれる未来の息吹が感じられる旧山内邸を中心に、多様な人が集い、共創が広がっていく風景をイメージしています。

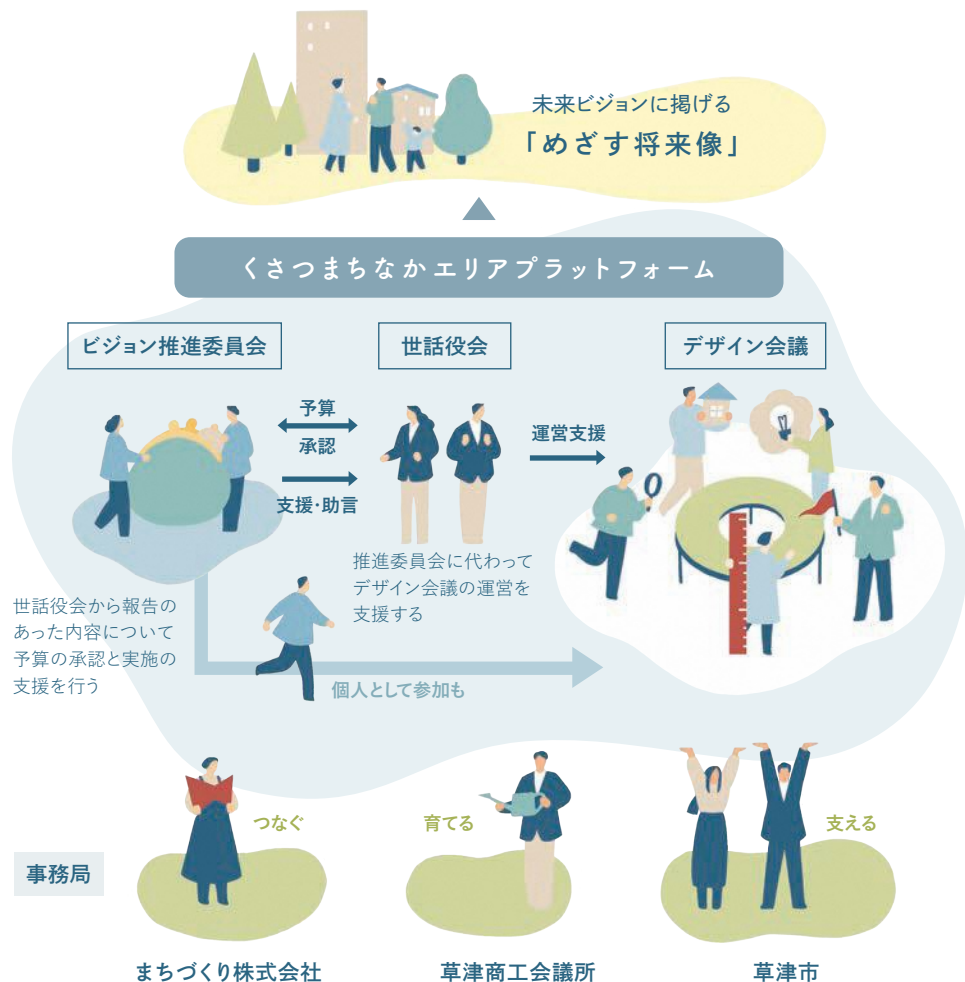


くさつまちなか エリアプラットフォームとは

くさつまちなかエリアプラットフォームは、未来ビジョンに描いた「めざす将来像」を実現するため、多様な関係者が相互に連携、協力して取組みを進めて行く「共創」の舞台です。まちに関わる全ての人に開かれた機関として、「デザイン会議」を設置し、まちのHUB（結節点）として、多くの人をつなぎ、プロジェクトを立ち上げる人を応援します。

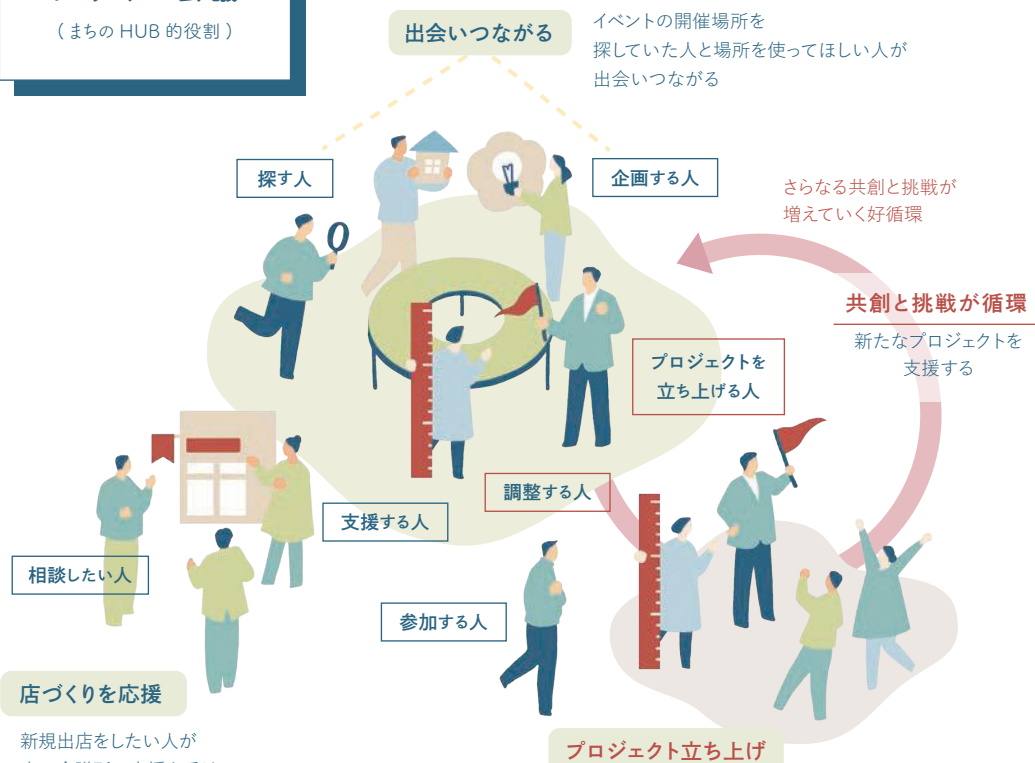
デザイン会議

デザイン会議は、まちの担い手たちが、まちづくり活動へ日常的にかかわりをもつことができるよう“関わりしろ”として集まる機会をつくり、都市再生推進法人であるまちづくり会社、草津市や商工会議所が、まちとひとを有機的につなぎ、やりたいことをプロジェクトとして立ち上げる人を支援します。



デザイン会議

(まちのHUB的役割)



新規出店をしたい人が
商工会議所の支援を受けて
市内に新しいお店を出店
店づくりを応援する

デザイン会議を通じて
新たなプロジェクトが立ち上がり
行政やまちづくり会社が許認可手続きや
地域説明など調整ごとを実施

デザイン会議への 参加のイメージ

「デザイン会議」では、多様な主体による共創によって挑戦を促します。未来ビジョンに掲げるビジョンやコンセプトに合った実効性の高いプロジェクトが、数多く生まれることを目指しています。

プロジェクトは、プラットフォームの承認と支援を受けながら進められます。さらに、プラットフォームの支援を受けたプロジェクトは、新たに立ち上げようとするプロジェクトを支援します。これにより、さらなる共創を育み、新たな挑戦を生み出す好循環が生まれます。

連絡先

草津市都市地域戦略課
滋賀県草津市草津三丁目13番30号
TEL : 077-561-6931

ロードマップ / 指標

めざす将来像および各エリアコンセプトの実現に向けたアクションの活動指標を達成を目標とし、プラットフォームを中心としたアクションを STEP1～3 の段階に分けて整理し、

長期的観点をもちながら継続的にすすめていきます。また、将来像の実現状況を把握する上での参考指標として、地域幸福度(Well-Being)指標を活用します。

方針	戦略		STEP-1 調査分析・検討	STEP-2 社会実験・育成	STEP-3 恒常化・拡充	指標の項目	令和 5 年 (基準値)	令和 11 年	令和 16 年
「デザイン」 まちを する	空間活用	各エリアの アクション	空間資源の掘り起こし 使いにくさの調査分析	社会実験を通じた 使いやすい環境と ルールづくり	気軽に公共空間が 使えるようになる	まちなかウォークアブル 区域内で市が許可する イベントの件数	143 件	160 件	180 件
	都市緑化		緑の活動に関する 課題の調査分析	緑の活動の実践と 自立自走をめざす 活動の育成	緑の活動が まちなかに広がる	エリア内の 公共空間でのガーデニング 活動への参加人数	393 人	440 人	480 人
「ブランディング」 まちを する	情報共有		情報発信に関する 課題の調査分析	社会実験を通じた 情報プラットフォーム の試用	まちの情報が広く 発信され共有される	エリア内の 公共空間にある 情報掲示板の数	***	5 件	10 件
	シティ プロモーション		イメージや 将来像の検討	将来像の認知と 共感を促す活動の 実施と機運醸成	まちのイメージが共有 されシビックプライド が醸成されている	大規模なスポーツ・イベント (1,000 人以上) の開催件数	10 件	20 件	30 件
「マネジメント」 まちを する	施設連携	各エリアの アクション	ステークホルダー による意見交換	社会実験を通じた 施設連携の効果検証と 参画者の拡充	施設がまちによって つながり相乗効果を 生み出している	エリアプラットフォームで 開催する 施設関係者会議の回数	***	5 件	10 件
	市民共創		多様な人が集う エリアプラット フォームづくり	運営参画者の拡充と コーディネーターの 育成	多様な人々が 関わり新しいことが 生まれている	デザイン会議の 参画者数	***	60 人	120 人
参考	健幸		地域幸福度(Well-Being) 指標対象エリアの幸福度				6.7	第6次草津市総合計画における 地域幸福度(Well-Being)指標の 取り扱いを準用します	